

項目	確認事項	届出内容	
基本情報	大学等名1(代表大学等)	大阪工業大学	
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オオサカコウギョウダイガク	
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F127310107901	
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	大阪府	
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学	
	科目名	インターンシップ	
	学部・研究科等名	工学研究科、ロボティクス&デザイン工学研究科、知的財産研究科、情報科学研究科、工学部、ロボティクス&デザイン工学部、知的財産学部	
	担当教職員名・役職	キャリア支援部キャリア支援課 係長 細田泰史、同課員 野間靖史	
	受講者数実績年度	令和5年度	
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	193	
	受入企業等数	92	
	受入企業等名	極東興和(株)、三菱電機コントロールパネル(株) 他90団体	
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)	
	キャリア形成支援活動の分類	5.他県をまたぐ広域でのキャリア形成支援活動	
	要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
		1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
1-2.で「3.その他」の就業体験の内容			
1-3.上記回答内容に関する詳細		(対面でのインターンシップ)営業先への随行、工事現場での作業補助など、(オンラインでのインターンシップ)企業等が抱える課題をグループに分かれて、解決方法を話し合い、その結果を発表し、フィードバックを受ける。	
2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。		1.はい	
2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	5.当該キャリア形成支援活動は、選択必修科目として実施している		
	6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している		
	7.当該キャリア形成支援活動は、授業期間中に実施している		
	8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している		
2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容			

項目	確認事項	届出内容
要素②	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年 大学院 修士1年 大学院 専門職1年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位 大学院 1単位 大学院 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部3年生および大学院1年生を対象に授業を開講。大学内で行う座学を中心とした事前・事後学習と夏期休業期間中に5日間以上の実習を行う。就業体験や参加型学習によって必要な情報を収集し、自らキャリアプランの方向性を確認する。
	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている	
	4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している	
3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容		
3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている	
	2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている	
3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容		
3-2-3.該当するモニタリング	3.その他	
3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	新型コロナの影響により、インターンシップ期間中の定期的な面談は行わず、学生・企業に問い合わせなどで随時対応した。	
3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	全5回(6コマ)の事前学習を実施。第1・2回目でインターンシップに参加する意義、目的、マナー、心構えを伝え、第3・4回目ではプレゼンテーション講習・発表を行った。第5回目では就業体験期間中の日報作成、体験後のレポート作成について指導した。	
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	全2回(2コマ)の事後学習を実施。第1回目は就業体験を終えて感じたことや学んだことを、どのように今後の学びに活かすかを考えさせる座学を行い、第2回目はグループに分かれ、学生一人ひとりが自身の就業体験に関する発表を行った。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	就業体験中の学生の体調不良による受入中止事例が発生し、その都度連絡および面談を行った。また、実習期間が変更になった学生には報告をさせ、実習状況の把握をするとともにフォローを行った。	
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	事前・事後学習では毎回学生にアンケートを取り、インターンシップ参加への意識変化を確認するとともに、就業体験後にはアンケート、レポートを通じて学生の感想や意識調査を行っている。またその回答結果をふまえ、授業内容、就業体験の内容の変更を行っている。

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	インターンシップ実施期間の半分を超える期間を設定。
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	受入企業には、学生の夏期休業中に連続した5日間以上のインターンシップ期間を設定してもらっている。また、5日間のインターンシップでは、うち(半分以上になるよう)3日間の就業体験を設定し、実施してもらっている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	本学のインターンシップの趣旨を事前に企業に周知し、理解いただいた企業のみ学生の派遣を行っている。企業は就業体験後に学生の評価資料を作成いただき、改善点やアドバイスを事後学習時に学生に周知している。また、就業体験後の学生の感想は、インターンシップ報告会で企業に周知している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	
問い合わせ先	大学等名	大阪工業大学
	担当部署名	キャリア支援部キャリア支援課
	担当者役職名	課員
	担当者氏名	野間 靖史
	電話番号	06-6954-4093
	メールアドレス	OIT.Shushoku@josho.ac.jp